

# 平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。  
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	131303						
事務事業名	介護用品支給事業	担当部局・課 健康福祉部 高年福祉課					
事業内容	要介護4又は5の在宅の寝たきり等で失禁のある高齢者を持つ家族に紙おむつ等の介護用品の購入費用の9割を市が助成する。						
	事業開始(予定)年度	平成12年度					
	事業終了(予定)年度	—					
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現				
		項目	きめ細かな地域福祉の推進				
		施策	要介護者の家族への支援				
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。						
事業の目的	在宅の要介護高齢者及びひとり暮らし高齢者に対する介護予防・生活支援を行うとともに、高齢者を介護している家族の身体的・精神的な負担の軽減を図る。	予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 特別会計 (項) (事項) (目)				
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)				
	事業費	1,947千円	財源内訳				
			国・県補助金等	1,461千円			
			市債	—			
			その他(使用料等)	—			
	一般財源(市税等)	486千円	事業費	2,238千円	財源内訳		
国・県補助金等	1,679千円						
市債	—						
その他(使用料等)	—						
一般財源(市税等)	559千円						
投入人員	—	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	投入人員	—	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		
人件費	—	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	人件費	—	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		
経費合計	1,947千円		経費合計	2,238千円			
活動指標	指標名(単位)	給付者数(人)	計画と実績	年度	H17年度	H18年度	
	意味・算式等	給付者数		区分	計画値	70	70
				実績値	34		

評価結果	C
	上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。